

令和2年10月22日

地域振興課
担当：若林
内線：3685
直通：076-225-1335

令和2年度石川地域づくり表彰受賞団体等の決定等について

本県では、地域づくり活動の一層の活性化を図るため、住民主体で先進的な地域づくりに取り組んでいる団体・個人を知事表彰することとしております。

このたび、今年度の受賞者を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

※ 本表彰は平成9年度から開始し、当初は隔年で実施、平成21年度から毎年実施。

1. 受賞者

団体部門	大賞	木郎活性塾（もくろうかっせいじゅく）（能登町）
	優秀賞	たかしな地区活性化協議会（七尾市）
	奨励賞	特定非営利活動法人 角間里山みらい（金沢市）
個人部門	洲崎 邦郎（すさき くにお）氏（金沢市）	

2. 審査について

市町からの推薦があったものについて、石川地域づくり表彰審査委員（谷本互座長、以下4名で構成）による書類審査及び審査委員会を実施し、先進性・独自性、継続性、発展性、自主性、協働性・連携性、効果の6つの観点から審査した上、受賞者を決定しました。

3. 主催及び後援

主催：石川県

後援：石川県市長会、石川県町村会、石川地域づくり協会

4. 表彰状授与式

日時：令和2年10月25日（日）10時～（約30分）

会場：石川県地場産業振興センター 本館2階第2研修室（金沢市鞍月2-1）
地域づくり研修交流会「いしかわ地域づくり円陣2020」の席上にて

令和2年度石川地域づくり表彰 受賞者概要

団体の部

【大賞】

もくろうかっせいじゅく
木郎活性塾（平成6年4月設立、能登町）

代表 新谷 信之（しんや のぶゆき）

<活動概要>

- 不動寺地区住民が小学校の廃校舎を譲り受け、維持管理のほか、廃校舎の利活用と交流促進のための「水車の里の音楽会」を23年間にわたって継続開催している。
- 費用をかけない運営の工夫や住民同士の連携、地域内外の音楽愛好家との交流などにより地域活性化を推進している。
- 近年は音楽祭に参加した子どもたちが成長し、スタッフとして運営を担っているほか、地域外でのコンサート開催や岩手県陸前高田市との交流等に取り組み、活動の幅を広げている。

【優秀賞】

たかしな地区活性化協議会（平成26年4月設立、七尾市）

会長 宮崎 吉春（みやざき よしはる）

<活動概要>

- 地域内の治安維持・安全確保に加え移住の観点も取り入れた空き家調査の実施や、移住体験住宅や「集落の教科書」を活用した移住促進事業、旧校舎を活用したユニークな賑わい創出事業等、様々な地域づくりの取り組みを実施している。
- 移住者は地域の3%（16組29名）を占めるほどとなっており、“地域づくりの仲間”として大きな役割を担っている。

【奨励賞】

特定非営利活動法人 角間里山みらい（平成23年12月設立、金沢市）

代表理事・理事長 三橋 俊一（みつはし としかず）

<活動概要>

- 金沢大学角間キャンパスの里山ゾーンを中心に、大学、企業、行政、地域などと協働で、森林・里山の整備や、森林・里山の魅力をテーマにしたイベント活動を企画・実施している。
- 幅広い年齢層の人が楽しみながら森林や里山について理解を深められる取り組みを通して、人材育成、里山保全活動の啓発等を図っており、里山と人とのつながりづくりを推進している。

個人の部

洲崎 邦郎（すさき くにお、金沢市）

<活動概要>

- 七尾市能登島で農業を始め、耕作放棄地の解消を目指して農事組合法人ラコルト能登島を設立し、米やイタリア野菜の栽培、販路づくり、6次産業化に取り組んでいる。
- 「能登島オリーブの会」を設立し、オーナー制によるオリーブ栽培や各種イベントによる地域活性化に地元住民や地域外の人々を巻き込んで取り組んでいる。
- NPO法人アグリファイブを設立し、「生産者と消費者をつなぐ」活動として、金沢市中心部で県内農家が直接販売するマルシェの定期開催や、アンテナショップ「香土（かぐつち）」の運営、野菜の料理教室、農家を訪ねるツアーなどを定期的に行っている。農作物の栽培、流通、販売、加工、飲食サービスなど、入口から出口までをトータル・コーディネートする活動を続けている。